

平成 29 年度 小豆島交通株式会社 運輸安全マネジメント

一、経営理念

【安全安心輸送と事故 0 目標】

「安全輸送」＝信頼される会社

「安心輸送」＝お客様へのサービス第一

「事故 0 目標」＝経営安定と我が社の根幹

二、安全方針

- 1、安全安心輸送は我々の使命、事業経営の根幹である。
- 2、全社員一人ひとりが役割と使命を常に認識し、安全安心輸送に対する向上を意識する。
- 3、コンプライアンスを遵守し、信頼される会社であることを意識する。

私たちは、地域に密着し、信頼される会社を目指すには、安全輸送を行い、またお客様へのサービスを第一に考えて安心する輸送サービスを提供し、事故を限りなく“0”に近づけ経営の安定化と事故のない日常が、継続経営する根幹であると常に心掛けます。

三、輸送の安全に関する基本的方針

- 1、代表取締役及び、取締役は、輸送の安全の確保が事業経営の根幹であると深く意識し、社内において、輸送の安全を確保するために指導を徹底して参ります。
- 2、代表取締役及び、取締役は、現場における安全に関係する問題点を真摯に受け止め、現場の状況を把握し、最善策を講じます。
- 3、当社は、輸送の安全を確保するための計画を PDCA サイクルにとりて確実に実施し、全社員が一丸となって取り組むことにより、絶えず輸送の安全性を高めるよう努めます。

四、平成 29 年 安全輸送目標

「お客様のため」「小豆島のため」「安心と信頼される会社のため」が事故防止に繋がり、安定する会社づくりに努めましょう。

- 【目標】 有責事故 0 件
人身事故 0 件
自損事故（車輛損傷事故） 10 件未満
無事故日数 120 日

- 【対策】 外部からの講師招聘によるセミナー
無事故継続日数の掲示による意識向上と社長自ら社内報を発行
社長の職場巡視
外部からの覆面添乗の実施
安全運転管理の為の設備投資
セーフティーバス1つ星取得に向けた取り組み

五、過去の安全の関する目標達成状況

年 度	目 標	結 果	達成状況
平成26年度	人身事故ゼロ	0件	目標達成
	一旦停止・速度超過撲滅	0件	目標達成
平成27年度	人身事故ゼロ	1件	目標未達成
	自損事故	27件	目標未達成
		軽微な車両損傷も含む	
平成28年度	有責・人身事故ゼロ	1件	目標未達成
	自損事故ゼロ	13件	目標未達成
	無事故継続日数	105日	目標達成
平成29年度	有責事故	0件	
	人身事故	0件	
	自損事故	10件未満	
	無事故継続日数	120日	

六、安全輸送に関する計画

1、運行管理・教育

- ① 運行管理者、補助者、乗務員に対して、年間教育計画に基づき教育および訓練を実施します
- ② 始業点呼時において、血圧計を用いて健康状態を把握し、報告させます。
- ③ 宿泊勤務時の点呼は、第三者によるアルコールチェックを行い報告させます。
- ④ 始業、就業点呼および中間点呼において、適確な業務連絡と体調報告の徹底をいたします。
- ⑤ 自動車事故対策機構が行う、運転者の運転適性・分析が可能な適正診断を定期的に受診し、その分析結果を用いて効果的な指導を実施いたします。
- ⑥ ヒヤリ・ハットの教育を導入し、これにより事例の収集、分析を行い「ヒヤリ・ハット体験に基づく危険箇所教育」に反映させ、事故防止に活用します。また、緊急性のある事例については速やかに所内に掲示し、始業点呼時周知徹底いたします。
- ⑩ 乗務員に対し、車両の特性に関する実地教育を実施し、事故防止に役立てます。
- ⑪ 無事故を意識付ける為に、無事故継続日数の書き換えは、乗務員が行います。
- ⑫ 内部・外部監査結果による個人面談と教育の実施。

2、内部・外部監査

- ① 本社管理職による現場監査を行います。(年2回)
- ② 外部による覆面監査を行います。(年2回)

七、投資計画

- ① 大型貸切バス老朽化に伴い、1台を代替え(約3,500万円)
- ② 安全運転管理の為、デジタルタコグラフを貸切バスに導入(約600万円)
- ③ 郵便輸送トラック老朽化に伴い、2台を代替え(約1,200万円)

八、安全管理規定

- ① 安全管理規定・・・小豆島交通株式会社 安全管理規定 参照
- ② 安全統括管理者・・・小豆島交通株式会社 代表取締役 中村彰紀
- ③ 組織体制・指揮命令系統・・・小豆島交通株式会社 安全管理規定 別表1及び別表2

九、過去の安全運輸マネジメント評価

- ① 安全運輸マネジメント評価 参照